

## 「春のえきらく大市」 自然を感じ歩く ステージパフォーマンスも大盛況

JR 苅田駅前で4月27日、「春のえきらく大市」が苅田まちづくり観光協会の主催で開催されました。今回は、JR九州ウォーキングとコラボレーションし、苅田町の自然や歴史を巡る約10kmのウォーキングには、約500名の方が参加。えきらく大市には地元店舗を中心とした物品・飲食販売に加え、子どもたちによるダンス・習字・しゃぼん玉パフォーマンスなどが披露され、会場は大いに賑わいました。



## 避難所に仮設トイレ等の提供 災害時仮設トイレ等の提供協定締結

4月19日、(株)アマミ（北九州市八幡西区）と町は、「災害時における仮設トイレ等の提供に関する協定」を締結しました。この協定は、災害発生時に避難所等で必要とされる仮設トイレ等の提供を受け、避難所等の衛生環境の向上、住民の心身の健康の維持や病気の発症・悪化を防止することを目的に結んだものです。同社の藤原輝也代表取締役は「今後も地域の発展に貢献していきたい」と話しました。



## 水道の広域連携で渇水克服 北九州市と基本協定を締結

5月1日、苅田町は北九州市・行橋市と3者で、北九州市から水道水を供給するための基本協定を締結しました。町は、主要な水源である油木ダムが降雨不足により貯水率が低下すると今川からの取水が制限されるため、深刻な渇水に悩まされてきました。この水道用水供給事業によって、今後、安定的な水源確保に繋がることが期待されます。

北九州市からの送水管は今年度から敷設計画が始まり、令和7年度から9年度までの間、苅田町を経由し行橋市までおよそ15キロメートルの敷設工事が行われます。供給は令和10年度から平常時になります。

一日当たり2500トン、加えて緊急時には4000トン増量されます（合計6500トン）。

締結式で遠田町長は、「渇水は町全体の課題。今回の協定により、安心安全な水が安定的に供給され渇水リスクも大幅に軽減できる。大変ありがたい」と述べました。

協定締結後には、北九州市の武内市長と「北九州空港の発展に向けたプロジェクト」などについてトップ会談も開催されました。今後も、地域全体で手をとり合い協力しながら、「もっと快適」「もっと住みやすいまち」になることを目指していきます。

## まちの話題

KANDA TOWN TOPICS

### ヤマト HD の貨物専用機新規就航 地域の経済活性化を期待

4月11日、ヤマトグループの国内貨物専用便が北九州空港に新規就航し、記念セレモニーが行われました。この貨物専用機は、10トントラック5～6台分の貨物を一度に運ぶことができ、北九州空港と成田空港、那覇空港を毎日運航し、今夏には北九州空港と羽田空港を結び便も追加される予定です。今回の就航は、北九州空港の貨物拠点化を加速させるものであり、長距離輸送の新たな手段となります。



### 白川小学校で「人権の花」運動 花を育てて思いやりの心を育む

「人権の花」運動は、児童たちが協力してひまわりの花を育てることを通じて、思いやりの心や命を大切にすることを育ててもらおうと、毎年町内の小学校で取り組まれています。4月22日、人権擁護委員の皆さんが「人権の花」であるひまわりの種を白川小学校の3年生に寄贈しました。児童たちはこれからひまわりのお世話をし、秋には収穫した種と自分たちが書いた手紙と一緒に風船に結んで大空へ飛ばす予定です。



## まちの話題

KANDA TOWN TOPICS

### 日産自動車九州(株)の新入社員 道路清掃で町民の皆さんにご挨拶

日産自動車九州(株)の新入社員の皆さんが4月18日、JR 苅田駅前から同社工場（新浜町）までの道を歩きながら、街路の清掃活動を行いました。この活動は、これからお世話になる地域住民の皆さんに清掃を通じて挨拶をしようと、同社が新人研修の一環で実施しているものです。この日は午前午後の2班に分かれ、約100名の新入社員が参加し、路上ごみを拾い集めながら、地域住民の皆さんに笑顔で挨拶をしていました。



### 「行橋リトルリーグ」九州大会優勝 2年連続で全国大会出場

3月23日に長崎市で行われた全日本リトルリーグ野球選手権九州大会で、町内の児童が所属する「行橋リトルリーグ」が優勝を果たし、全国大会への出場を決めました（5月10日・茨城県）。児童たちが4月24日、結果と全国大会出場を報告するため町長を表敬訪問すると、町長はチームの活躍を称賛。同チームの苅田中学校1年の梅野逞斗さん（写真中央）は「全国大会では一勝一勝、勝ち取りたいです」と目標を語りました。

